

千船病院は日本医学会『出生前検査認証制度等運営委員会』の認証連携施設です。

千船病院は、NIPT「無侵襲的出生前遺伝学的検査」を日本医学会の認証を受けて実施しています。

NIPT

出生前診断は広義では、妊娠中に実施されている胎児へのすべての検査が含まれます。通常の妊婦健診で行われる胎児発育確認の超音波検査も出生前診断の一つです。

しかし、胎児が生まれた時点からある病気、特に染色体疾患の有無を調べる検査を出生前検査と呼ぶことが多くなっています。出生前検査の選択肢は非常に多様化しています。

当院では、妊婦さんの血液中に含まれている胎児 DNA を検出し、母体採血で胎児の 21、18、13 番染色体の異常の可能性が高いかどうかを調べる NIPT 検査を行っています。

NIPT 検査は、母体血清マーカー検査より精度が高いですが、確実に疾患の有無を診断できるわけではありません。

直接母体のお腹に針を刺すことがないため検査に伴う流産の危険性はありません。

NIPT でわかること・わからないこと

赤ちゃん 100 人中 3~5 人程度は、生まれた時点で何らかの疾患があることがわかっています。この中で染色体が原因となる疾患は約 25%です。NIPT 検査は胎児の 21、18、13 番染色体の数的疾患の可能性を調べる検査で、それ以外の疾患はわかりません。21、18、13 番の 3 つの染色体以外の数的異常の場合は自然流産になるため、3 つの染色体以外に関する検査の意義は極めて低いと考えられています。

遺伝カウンセリング

NIPT 検査は、妊婦さん全員が受けなければいけない検査ではありません。専門外来で検査前に遺伝カウンセリングを通じてこの検査のことをよく理解し、ご自身とパートナーにとって必要であるか十分に考え納得したうえで実際に受けるかどうかを決めてください。

ご予約は、千船病院産婦人科外来受診時に行います。(電話でのご予約はできません。)

<リンク>

[出生前検査認証制度等運営委員会
費用について](#)

NIPTをお考えの皆様にもまず知っておいていただきたいこと

- 「日本医学会出生前検査認証制度等運営委員会（以下、運営委員会）」は、出生前検査を受ける妊婦さんとパートナーへのサポート体制、遺伝カウンセリングや検査の質や正確さをより確かなものにするための組織です。2021年、国の専門委員会「NIPT等の出生前検査に関する専門委員会」の報告書に基づき、日本医学会の下に設けられました。こども家庭庁と連携して活動しています。

<運営委員会のウェブサイト>

「一緒に考えよう、お腹の赤ちゃんの検査」<https://jams-prenatal.jp/>

妊婦さんやご家族のためのサイトです。出生前検査の種類や受けた方、受けなかった方の生の声、相談先、生まれながらに病気のあるお子さんとの暮らしや福祉についての情報を提供しています。

- この運営委員会では、妊婦さんおよびご家族の皆様にとって、安心と信頼に足るNIPTの提供ができる医療機関および検査分析機関の施設認証を行っています。当院は、認証を受けている医療機関の1つです。

認証施設一覧 <https://jams-prenatal.jp/medical-analytical-institutions/>

私たちの施設は日本医学会出生前検査認証制度等運営委員会により公式に認証された「認証施設」です

- 私たちの施設は、上記の運営委員会が策定した「NIPT等の出生前検査に関する情報提供及び施設（医療機関・検査分析機関）認証の指針」の要件を満たしています。
- 当施設は、自施設でNIPTの実施と検査後のフォローまですべてに対応可能な「基幹施設」として認証されています。

認証施設についての詳細はこちらをご覧ください。

<https://prenatal.cfa.go.jp/certification-facility/introduction-of-certified-facilities.html>

私たちが提供するサービス

1. 検査を受けるべきか迷っているあなたへ

- 私たちは、検査を一方向的に勧めるあるいは抑制するのではなく、検査の利点と限界を全てお伝えし、それぞれの方が納得して選択できるようお手伝いします。
- 不安な気持ちにも寄り添います。
- 遺伝カウンセリング後に検査を受けない選択も尊重します。

2. 検査に不安を感じているあなたへ

- 検査の前後で、専門家がわかりやすく丁寧にしっかり時間をかけて遺伝カウンセリングを行い、納得して自分たちの結論を導くことを支援しています。

- どのような結果が出て、それに対してどのような判断をするとしても、最後まで対応します。
- 当施設で対応する主な専門家は、学会が正式に認定する臨床遺伝専門医（日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会認定）、出生前検査に関する研修を修了している産婦人科医（日本産科婦人科遺伝診療学会による認定）、認定遺伝カウンセラー、遺伝看護専門看護師となります。多職種で多角的に妊婦およびご家族を支援します。
- 出生前コンサルト小児科医（日本小児科学会認定）が、生まれてからのケア（医療や福祉のことも含め）について詳しくお話しします。
(https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=419)

3. 羊水検査等の提供

確定的検査が必要となる場合や確定的検査を希望される場合には、当施設で羊水検査等を提供できる体制を構築しています。

4. 包括的な産科・周産期診療の一連の流れとしての出生前検査の提供

当施設で下記のような医療、支援を提供できる体制を構築しています。

- NIPT だけでなく、妊娠継続時は妊娠中の様々な不安や懸念にも、出産まで対応します。
- NIPT検査前または検査後に超音波検査で何か異常が見つかった場合の対応も含め、多職種でのサポートを提供します。
- 必要なときには、出生後にお子さんの治療にあたる小児科・小児外科などの専門科と妊娠中から連携します。また、臨床心理士や社会福祉士などもかかわり、多職種が協力して身体面、社会面、心理面でサポートしていきます。
- 私たちは、13 トリソミー、18 トリソミー、21 トリソミー（ダウン症候群）を含む、障がいを持つ方々に対する差別を防止し、すべての人が共存できる包括的な社会の実現というノーマライゼーションの理念に基づく医療を提供しています。

私たちが行っていないこと

- 遺伝カウンセリングなしの検査は実施しません。出生前検査は、検査そのものや、検査によって得られる結果を正しく理解し、その後の計画を考えていくなかで、さまざまな心配や迷いが生じやすい検査です。そのため、妊婦さんとパートナーのために、出生前検査の専門家による充実したサポート体制のもと実施することが大切であると認識しています。遺伝カウンセリングは妊婦さんとパートナーが正しい情報のもとにそれぞれのお考えで判断できるようお手伝いするもので、決して検査を止めようとするものでも勧めるものでもありませんので安心してお受けください。
- 13 トリソミー、18 トリソミー、21 トリソミー（ダウン症候群）のみを検査の対象としています。これは検査精度、安全性、そしてその医学的意義を考慮した結果です。